

# 共生

奈良県生協連

2000年10月

NO.38

## 万葉のいぶきを求めて－(3)



白毫寺に咲く萩の花

たかまと  
高円の 野辺の秋萩いたづらに 咲きか散るらむ 見る人なしに

かさの かみ むら  
傘 金 村

しきのみこ 志貴皇子の山荘跡に建つ びやくこうじ 白毫寺は若草山の南に連なる たかまとやま 高円山に寄り添うようにして静まりかえっている。庭の片隅に万葉の歌人傘金村の歌碑が建っていた。

この歌は志貴皇子の葬送の挽歌として万葉集巻第二に 志貴親王のなくなられた時、作った歌一首と短歌として収められている。たかまとやま 高円山に春野焼く 野火とみるまで 燃ゆる火を と野辺の送りの火がつづく様を劇的にうたった長歌の反歌として詠まれた。

「志貴皇子のこよなく愛した萩の花が今年もまた美しく咲いていることだろう。もう見てくれるあの人は亡くなられたのに……」白毫寺に音もなく降る秋雨の中に萩の花が静かに散っていた。

# 食品の安全を確保するために

日本生活協同組合連合会  
専務理事 品川 尚志



あと2ヶ月ほどで激動の20世紀が終り、新しい21世紀を迎えます。

20世紀は「科学技術の進歩の世紀」「経済発展の世紀」「戦争の世紀」などと言われていますが、もう一面では「市民主体の社会形成」が模索されはじめた時代でもありました。

今、時代は大きく変わりつつあります。経済をはじめとしたグローバル化、IT革命やバイオテクノロジーなどの科学技術の進展、少子高齢社会等が進行し、対応が求められておりますが、共通する基盤に「市民参加」が名実ともに位置づけられることが重要です。そして、21世紀社会のあるべき姿として「自立した市民の協同の力で、人間らしい暮らしの創造と、持続可能な社会」を実現し、市民が「安全・安心」に生活できる社会とすることが必要です。

この秋、全国の生協では来年の通常国会に向けて、「食品衛生法の改正、運用強化」を求めて1000万筆を目標とした請願署名活動に取り組んでいます。

食品の安全をめぐるっては、ここ数年を見てもO-157、環境ホルモンやダイオキシン、遺伝子組み換え食品等の新たな問題が出現し、今夏には史上最大といわれる雪印食中毒事件が市民に大きな不安をもたらしました。そして、食品の安全に関わる問題の近年の特徴は、微生物汚染による大規模食中毒に加えて、化学物質の

摂取による慢性中毒や次世代への影響の問題です。

これらの諸問題は、「問題が起こったら対処する」「製造等の事業者を管理監督する」という現行食品衛生法の考え方では限界があり、時代にそぐわなくなっていることを示しています。個別課題の施策を充実強化することはもちろんですが、食品衛生法を「食品の安全を確保する法制度」に作り変え、予防的視点からの施策を強めるとともに、消費者の参画や情報の公開をはかっていくことが、21世紀の市民社会のあるべき姿として求められています。

これまでも生協は事業や活動において、食品添加物や残留農薬、遺伝子組み換え食品の表示などの取り組みを進め、社会的にも大きな役割を果たしてきました。産直など「消費者と生産者の目にみえる関係作り」で、「安全」とともに「食の安心」も創ってきております。

しかし、食品の安全をめぐる状況が大きく変化しているなかで、改めて生協の事業と活動の上で、又、組合員と職員が一体となって、食品の安全性を確保するための社会システムづくり、その根幹となる食品衛生法の改正・運用強化を実現していく運動を進め、社会的リーダーシップを発揮することが重要となっています。

# 食の安全キャンペーン 署名運動がスタート!

## ならコープの取り組み

各実行委員会で推進計画を確定し、学習会の実施や署名呼びかけの具体化がすすんでいます。また、9月～10月秋の班長会が行われ、「わたしたち安心して食べたい」をテーマに多くの組合員さんが学習し、署名運動に参加しています。10月1日、キックオフ一斉行動として、近鉄奈良駅前と八木駅前、各店頭での署名活動を行いました。各事業所では共同購入時の呼びかけや、店頭での署名活動やエンドレステープでの呼びかけなど多彩な取り組みが計画されています。各委員会および事業所での目標は以下の通りです。



実行委員会	目標数(筆)
北部ブロック	36300
中部ブロック	27300
香芝ブロック	24300
生駒ブロック	23050
高田ブロック	31100
桜井ブロック	28000
おしくま	4500
いこま	3250
六条	2700
かつらぎ	800
たつたがわ	3250
真美ヶ丘	2500
いまご	2250
西大和	900
みみなし	2900
たかだ	2250
本部計	8000
合計	203350

▲コープいまご実行委員会では9月11日から午前・午後の約1時間ずつ店頭での署名の呼びかけを開始しました。来店される組合員ひとりひとりに声をかけ、家族分を含めた署名のお願いをしています。また店内に常設の署名コーナーを設け、請願内容を紹介するパネルを展示し、呼びかけのできない時間帯でもアピール出来るよう工夫しています。

▲中部ブロック実行委員会では9月4日にブロック委員・職員合同の学習会を実施しました。学習会では「共同購入の班で署名を訴える」という設定で職員・組合員役に扮したブロック委員が寸劇を行いました。その後、ブロック委員から職員へ「こんな質問が出されたらどう答えますか」と質問を投げかけ、班での訴えをどう進めるか話しあいました。

## 奈良労済生協の取り組み

協力団体として署名用紙を作成し、6千筆以上を目標に取り組んでいます。

## 各大学生協の取り組み

それぞれの工夫をもって、学生へ呼びかけることが話し合われています。

## 友誼団体への協力依頼

各種協同組合への協力依頼や各種友誼団体への協力依頼を行い、積極的に受け止めて署名に取り組んでいただいています。



食の安全 …… 2  
平和 …… 4

福祉 …… 8  
環境 …… 10

広がる協同・くらしの輪 …… 12  
つながる連帯・友好の輪 …… 14

# 平和

## 2000 奈良県市民平和行進を終えて

— 327人が一緒に歩きました —

5月6日、東京夢の島を出発した「2000 市民平和行進」は、1,200 kmを歩き続け、8月4日、広島平和公園にゴールしました。今年は、ならコープが平和行進に通し行進者を送り出すようになって、ちょうど10年目になります。「平和」は、ただ『願う』だけで得られるものではなく、自らの行動を通して広くつなげ、平和の思惟をより強いものに育てていこうと願いつつ、行進中、沿道で声をかけてくださった市民の熱い思いや、被爆者の願いをとどけることができました。



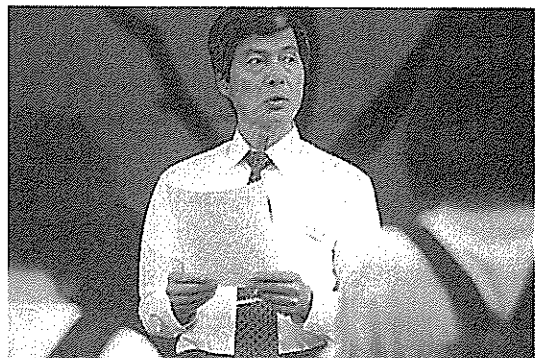
県内行進は、6月26日、京都から引継ぎ、梅雨の晴れ間の暑い日や大雨の日もあった5日間、県内各地を元気に歩きました。行進参加者は合わせて327名となりました。

- ◆ 6月25日(日) 平和行進が奈良県入りする前日、コープみみなしでの「平和コンサート」では、組合員とその子どもや職員 83人が集い、御所のお話の会の方々のお話のあるお話や、音楽会では、歌メドレーで会場を圧倒し、最後に全員で「青い空は」を歌って幕をとじました。



- ◆ 6月26日(月) 心配された雨も朝のうちにあがり、昼過ぎから般若寺において京都からの引継ぎ集会が行われた後、ならコープ本部に向けて県内行進がスタートしました。途中、県庁前で県国際課井上課長より歓迎のメッセージをいただき、農協会館前では農協中央会の皆様の拍手に迎えられました。本部到着後、わかくさの会の方々とグループ毎に平和交流会を持ちました。

- ◆ 6月27日(火) 10時に JR 奈良駅前を出発し、三条通りから県庁へさらに奈良市役所に向けて行進しました。奈良市役所では、松島商工労政課課長より激励のあいさつをいただきました。終結集会后、奈良教育大学戦跡(奈良連隊跡)を、吉川先生と小柴館長の案内で見学しました。30名の参加がありました。

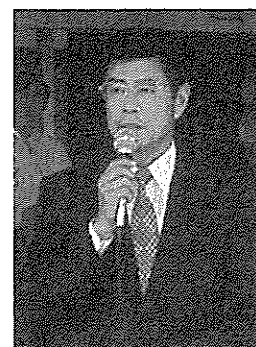


- ◆ 6月28日(水) 大雨の中 JR 郡山駅前を出発し郡山市役所から JA 片桐女性センターを経てコープいまごに向かって行進しました。郡山市役所では上田企画部長より激励のあいさつをいただき、いまご店では「平和の会」の、基地問題についての風刺の利いたパフォーマンスと、被爆者との平和交流会があり、わかくさの会の大月さんの被爆体験に聞き入りました。



- ◆ 6月29日(木) 高野先生のガイドで柳本飛行場跡への平和ハイキングに55名が参加しました。奈良県に住んでいながらほとんど知る機会がなかった地を実際に歩いて、大きさや内容を知り、田んぼの中に今も残る壕の跡や滑走路跡の水路で、当時の様子を思い描きました。

- ◆ 6月30日(金) 県内行進最後の日、10時にディアーズコープたつたがわを出発し、三郷町役場から王寺町役場へと行進しました。それぞれの役場で福森総務部長、田中総務部長の激励のごあいさつをいただきました。県内行進中いただいた元気な力と熱い想いを、無事大阪へと引き継ぎました。



## 報告集会



8月21日、コープみみなしにおいて平和行進報告集会が開催されました。通し行進者久保田さんのスライド報告と、広島行動参加者からそれぞれ報告が行われ、111名が参加しました。

# 平和行進に参加して

ならコープ桜井支所

久保田 学

私は5月7日東京夢の島第五福竜丸展示館前を出発し、8月4日の広島に無事到着することができました。これまで、送り出し集会、平和募金、平和へのメッセージなど私を支え励ましてくださって本当にありがとうございました。私が5年前、平和行進に少しだけ参加した時、ある方に『平和ってなんだろう』と聞かれ、答えることができず、その答えを出せないまま今回の行進に参加しました。

『今の世界・日本は平和といえるのだろうか？』歩きはじめて、私はこのような疑問をもつようになりました。例えば、第2次世界大戦後、世界で戦争、内戦を起こしたことのない国は200数十カ国中、わずか10カ国しかないそうです。今、私達が何気なく生活している間もこの世界のどこかで戦争がおこなわれ、なんの罪もない老人、女性、子供達が真っ先に犠牲になっています。また、私たちの住む奈良県では米軍基地はありませんが、神奈川県ではたくさんの米軍基地があります。そこでは戦闘機が飛行訓練をしていて多くの住民が騒音に悩まされ、また、石油基地のジェット燃料が保管してある地下タンクの上では危険とは知らずに、子供が遊んでいます。1977年には一般の住宅地に戦闘機が墜落し、何の罪も無い2人の子供と1人のお母さんが犠牲になりました。私はこの現状を聞き、まのあたりにし、戦争が無いだけが平和ではない本当の平和とは誰もが安心して暮らせることだと確信しました。

また、平和が続くとそれが当たり前になり、平和を続けていくのが難しいといわれます。ただ、平和は待っているだけではやってきません。一人一人が声を出し、肩肘を張らず、自分のやれることから行動に移すことが大切だと思いま



す。次世代に平和を残すことは我々大人の責任であり次世代に平和を語り継いでいくことは大切なことだと思います。私は平和行進に参加する前、なぜ、生協で平和活動をするのか？と疑問に思っていました。しかし、私達の「安心・安全な物を食べたい」、「安心して暮らしたい」という気持ちも平和だからこそ、かなえられるんだと痛感しました。行進中にこういうお話を聞きました。『私達一人一人は水に例えると一滴のしずくでしかありませんが、その一滴のしずくがたくさん集まると大きな大河となります。』確かに私たち一人一人は小さなしずくかも知れませんが、私達の平和への思いを一つにすれば核兵器も戦争も無い平和な社会を絶対に作れるはずです。皆さん、この誰もが安心して暮らせる未来を作るために、共に手を取り合っ



# ヒロシマ行動に参加して

ならコープ 平和担当理事 阪東昌子

2000年8月6日午前8時15分、広島は真っ青だった。広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式が執り行われる平和記念公園は、55年前のあの日と同じ曇一つない灼けつく太陽に照らし出されていた。戦争に明け暮れた20世紀最後の夏。今世紀中に核兵器廃絶を！と願う人々の声も空しく、21世紀に持ち越されることになった核問題。廃絶の日を待たずして亡くなっていく多くの被爆者の無念さを思うと胸がいたむ。数えきれない人々の涙の川が広島の町の中を流れている気がした。

原爆養護ホーム「むつみ園」で被爆体験を聞いた。知ってか知らずか一番辛い部分の話がボンと飛ぶ。何回聞いても同じだ。きっと辛すぎて意図的に忘れようとしているうちに本当に記憶からとんでしまったのかもしれない。養護ホームは基本的に自立できる方が入所されているのだが、要介護者が増えてきており特養化しつ

生駒ブロック平和実行委員 半田 ミサ子

広島は町へ一歩足を踏み入れた時（時間が経つにつれてわかったことですが…）胸がしめつけられる様な気持ちになりました。どこを見ても原爆に関係があるからです。そんな気持ちのまま、行進者の久保田さんを8月4日11時すぎ平和記念公園へ到着するのを迎え、1ヶ月ぶりの再会!!それから一緒に行動になり、広島原爆養護ホーム（舟入むつみ園）を訪問、見学、入園されている方々のお話、私は91才になる女性の体験をお聞きしました。ご自分も被爆され、その時子供さんを亡くされたそうで、今お元気ならば私と同じくらいだな—と思い、冷静にと思いつつ涙が止まらず、こんな体験をされた方々が広島町の町だけでなく日本中にと、やりきれない気持ちのまま、今度は原爆資料館へと。又ここで涙、涙の一日でした。今まではテレビの前で何となく見て、チョット黙とうするぐらいの気持ちでいたのですが、20世紀最後の8月6日原爆死没者慰霊式に、今年に参加することが出来、ならコープ平和実行委員担当になれたことに感謝しています。55年が過ぎ

つあるということだった。

これから先、被爆体験を本人から聞くことがむづかしくなってくる。今まで話したがらなかった方が近年になってから語り始めるというのも増えているようだ。「今のうちに伝えておかなければ…」という気持ちからなのだろう。

被爆者から託された私達は21世紀を担う子供達に、戦争の悲惨さ、核の恐怖、そして何より戦争を引き起こす人間の愚かさを、きちっと教え、伝え、「何があっても戦争はいけないことだ。核はもちろん、ありとあらゆる武器、兵器を地球上からなくそう」と言える子を育てていかなければならない責任がある。「過ちは繰り返させぬから」を合言葉に…。



た今でも、あちらこちらでそっと涙を拭いている人々の姿を見て、私も気がつくとその間暑さも忘れ、心の中で原爆の恐ろしさと戦争の残酷さを、私なりに伝えていきたいという気持ちになり、又、平和の大切さを忘れてはならないと、平和祈念式をあとにして、宇品港よりフェリーで似島へ渡りました。この島は、陸軍の島で一般の人はまったく知らない、勿論渡ることも出来ない島だったそうです。島全体に火薬庫、防空壕、見張り台、貯水池、戦艦大和の予備砲等々、びっくりするばかりでした。今は一部を、親と一緒に暮せないなど、事情のある子供達の学園になっています。

2泊3日の広島行動で、一番大事な平和という「ことば」の重みを心に強く感じ、久保田さんは長崎へ、私達は広島をあとにしました。

# 福祉

## あすなら苑は今

あすなら苑が1周年を迎えました。入居者も定員に達し、デイサービスや相談者、ボランティアに関わる方々の輪も順調に広がっています。

### 7月末現在の状況

#### 1) 特養 (定数 50名)

- ①入居者数男性 12名、女性 38名 合計 50名
- ②入居者の年齢 最低 61歳、最高 93歳 平均年齢 81.8歳
- ③介護認定の結果

要介護度	1	2	3	4	5		平均3.1
人数	6	9	13	15	6	49	

\* 歯科衛生士による入居者 (2人) に対して口腔衛生指導を受けました。  
\* 第1回ボランティア活動者交流会を行いました。(31人参加)

#### 2) ショートステイ (1日定員 20人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均計	4月	5月	6月	7月
利用日数	45	56	60	91	59	118		101	140	185	188
1日利用	1.4	1.8	1.9	2.9	2.0	3.8	2.3	3.4	5.9	5.5	6.0

#### 3) デイサービス (定数 25人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均計	4月	5月	6月	7月
利用日数	66	83	94	102	143	176		242	313	384	449
1日利用	2.1	2.7	3.0	3.2	4.9	5.6	3.6	8.2	10	12	14

#### 4) 支援センター

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月	5月	6月	7月
相談件数	24	19	26	54	68	66	107	364	344	339	526	696

#### 5) 家族面会者、見学者など (人)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
家族面会者	112	310	409	394	353	294	321	354	339	326	290
見学者	45	163	303	86	98	143	106	71	94	152	135
会議室利用者	65	346	400	399	1,037	867	848	705	869	841	752
合計	222	819	1,112	879	1,488	1,304	1,275	1,130	1,302	1,319	1,177

#### 6) ボランティア活動をして下さった方 (人)

	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	4月	5月	6月	7月
介護	8	33	33	25	26	69	194	69	92	80	54
行事・クラブ	15	9	47	25	22	16	134	36	24	73	48
買い物	3	3	7	7	3	0	27	2	0	0	2
合計	26	45	87	61	51	85	355	107	116	153	104

#### 7) 寄附金 (募金)

(千円)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
金額	2,297	3,544	1,909	1,830	1,677	1,398	4,943	1,906	1,063	2,100	697
人数・団体数	7	9	12	16	11	8	18	12	12	10	11

(ならコープのあすなら福祉募金は1団体で計算しています)

#### 8) 7月行事など

7月5日、たなばた祭りを開催。コーラス、人形劇などみんな (110人) で楽しいひとときを過ごしました。



## 喫茶「み・あんど」の1年

ワーキングサークル喫茶み・あんど代表 山田恵子

あすなら苑の開苑に合わせて開店した「み・あんど」は、9月1日無事一周年を迎えました。昨年6月、ならコープ広報誌「あをがき」での呼びかけに応じて、30名弱の組合員が集りました。以後2ヶ月、幾度も話し合いを重ね、喫茶店に対する思いや運営について論議し確認し合ったことを思い出します。「ワーカーズ」即ち、自分たちで出資金を出し合い共同で運営する方法を決め、最終的に15名でスタートすることになりました。

みんな経験したことのない未知の世界です。特養ホーム内に喫茶コーナーのある「ホーム太子堂」「あしや喜楽苑」やコープこうべの「ツーカーズ喫茶ぼーね」を見学することで「私たちの喫茶店」へのイメージを膨らませ具体化へと大きく踏み出せたように思います。

コーヒーの点て方の講習を受け、食器、備品を買い揃え、多くの方々の応援を得て準備した開店前の2日間は、熱い思いと不安が半々の忙しく暑い日々だったと記憶しています。

入居者の利用は、苑の生活にも慣れた11月頃から始まりました。コーヒー党の方、喫茶の雰囲気好きな方、トマトジュースがお気に入りの方、サービスで出す緑茶が大好きな方等、車椅子や歩行器で来られます。ショートステイやデイサービスの常連さんもできました。からだの不自由な方がほとんどなので、カウンターに着くことから飲み物を口に運ぶことまで手伝います。また利用入居者の水分摂取量を記録して苑に毎日提出することも欠かせない仕事の一つです。

話せなかった方がお茶を飲んで「おいしい」と云えたり、無表情な方が笑ったり嬉しそうな表情が出た時、家族の方同様感激してしまいま



す。人と人のふれあい、会話の大切さを実感します。

家族の方は面会后よく利用されます。コーヒーを飲みながら在宅介護の苦勞や悩みを話されます。私たちは唯聞くだけですが「話すことで心が和らぎ、また頑張ろうという気持ちになった」と帰って行かれます。介護者のケアに少しは役に立てたかなと、私たちも嬉しくなります。

「み・あんど」を利用して下さるお客さま、あすなら苑を応援して下さる組合員に支えられて一年間を無事に運営できたことに感謝をしています。5月の総会では半年間の決算報告を行い、ささやかですが剰余の三分の一をあすなら苑に寄付することが出来ました。「儲ける」ことからはほど遠い経営状態ですが、メンバーが得たものの中味は決してお金には変えられないものばかりです。良い経験、勉強をすることが出来ました。

「家庭的な暖かさとホットする場」を目指して今後も運営して行きます。あすなら苑の喫茶「み・あんど」にお立ち寄り下さい。おいしいコーヒーと笑顔が待っています。

# 環境

## ならコープ 99年度 環境の取り組みと 2000年度 環境事業計画

### 環境基本政策

～ 環境基本政策(1991年策定)より抜粋 ～

ならコープでは次の3点を、環境問題に取り組む基本的な考え方として来しました。

- ① 環境問題は生協にとって単なる重要課題ではなく、生協の理念に関わるものとして位置づけ、生産-流通-消費-再生・廃棄に関わり、多くの市民が参加する組織としてその役割を果たすために努力します。
- ② 取り組みにあたっては、組合員の主体的な取り組みを基本とするとともに、事業体としての社会的責任を果たす意味でも、環境にやさしい事業の取り組みを進め、事業高の0.1%程度の資金を用意して積極的な役割を果たします。
- ③ 環境活動の課題の中でも、組合員に最も身近な「ごみ問題」を中心的なテーマとし、使い捨て化に流されない新しい価値観を創り出して、行政や多くの市民とともに「人づくり、まちづくり」の運動をすすめます。

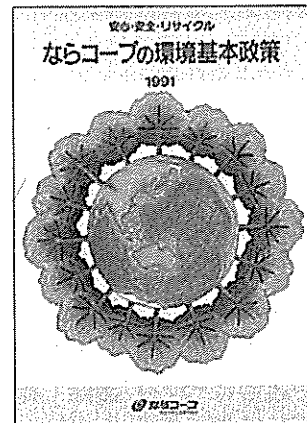
### 99年度 環境の取り組み

～ 99年度環境監査報告書より抜粋 ～

環境マネジメント、環境監査制度を導入して最初の報告が出来上がりました。

#### (1) 省資源・省エネの取り組みについて

- ① 電気使用量について既存施設で94%を達成できたことは評価できます。引き続き、室温の基準遵守するとともに、デスクライトが効果的な事務所への導入を、労働基準法の照度基準を守りながら行ってください。また、店舗での節電装置の効果的な導入拡大を図ってください。



- ② 水道については、使用量の多い6カ所は節水目標値の設定を検討してください。
- ③ LPGスタンドの自前設備を活かしたLPG車への積極的な切り替えにより、CO<sub>2</sub>や有害物質の削減が進んだことは大きく評価できます。
- ④ 事務用紙については、職場により両面コピー対策にばらつきがあり、徹底していません。基本のコピーを両面にすること、裏紙利用のルールの徹底をマネージャー課題にすることが必要です。
- ⑤ 自家発電を含めたトータルな電気使用量は、前年比98%と削減できた一方で、A重油使用によりCO<sub>2</sub>排出量が結果的に増加してしまうことは残念です。リスク対応時と通常期とを分けて、その環境負荷量を最小化するために、自家発電の効率性やコストとのバランスを考えてください。

#### (2) リサイクル活動の取り組みについて

回収量は大幅に増加しており、店舗や班長会でのリサイクルの啓発活動とともに高く評価します。

また、共同購入カタログのリサイクルの取り組みは、他生協や社会に大きな影響を与え、組合員への信頼につながりました。今後、自治体の動きに注意して事業者と市民が参加しやすい社会的な仕組みづくりを前提に、川上での削減と川下でのリサイクル用途拡大を図ってください。

### (3) 買い物袋持参運動について

買い物袋の持参率が78%を超えることは、他のスーパーの例を見ても、また全国とくらべても高く、組合員の意識の高さが伺えます。また、「マイかご」の普及や「レンタル袋」の取り扱いを全店で拡大するなど、組合員が取り組みやすい方法を、工夫を凝らしながら導入していることは、高く評価します。

### (4) 事業系廃棄物削減の取り組みについて

- ① 奈良市分別収集に準じた10種類排出ルールの仕組みをつくり、運用したことは、評価いたします。さらに、全事業所からのごみの分別排出ルールについての徹底を図ってください。
- ② 物流センターでの「ドリーベルト」の採用や、事業所古紙・発泡スチロール・段ボールのリサイクルなどの取り組みによって廃棄

物の排出量を10%(50t)削減したことは評価します。ただし、事業系廃棄物については、種類別量の把握と処理が適正に行われているかどうかを年に1~2回確認してください。

### (5) 容器包装の削減・環境商品の普及の取り組みについて

- ① PB商品の塩ビ系素材の切り替え、包装の削減、トレーの材質切り替え、包材の材質分別表示などの方向性は、組合員に理解が深まるよう、もっと広報する必要があります。
- ② 生協運動の重要な柱である「環境」活動のためにも、オフィスの「グリーン購入」と同様に、生協に於いては「グリーン販売」の視点が重要です。衛生紙、洗剤、非塩素系ラップ以外の環境商品においても、定義の整理や指標整備、販売実績の評価などのデータ化の拡充を図ってください。

## 2000年度環境事業計画

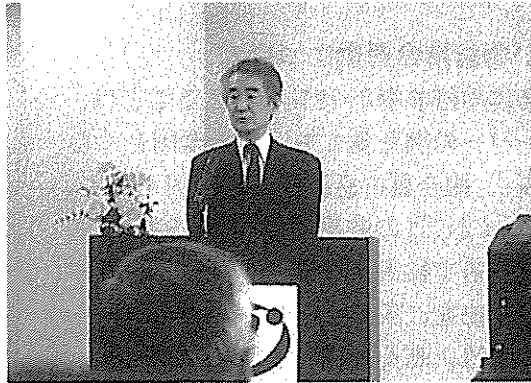
中央環境マネジメント委員会

重点課題	目標	重点課題	目標
省資源・省エネの進捗管理を強め、推進します。	①各項目の全体目標は以下 ・電気/前年比5%減 ・水道、ガス、燃料/前年実績維持 ・事務用紙/前年比5%増維持 ②週次による数値管理の定着	組合員とともにリサイクル活動・マイバッグ運動を広げます。	①リサイクル総量を前年比の10%増 ②共同購入カATALOGの回収率60% ③買物袋持参率80% ④リサイクルコスト前年維持
事業系廃棄物の削減をすすめます。	①店舗生ごみ処理本格実験開始(1店舗) ②廃棄物量の掌握と排出量10%削減	グリーン購入をすすめます。	①ガイドラインの再徹底 ②衛生紙への分野拡大
容器包装の削減と容り法対応及び環境商品の普及をおこないます。	①ノートレー商品10アイテム見直し ②ギフト空間率基準検討 ③環境商品(紙・洗剤・ラップ)利用前年10%増 ④再生原料使用容器の開発	広報・学習をおこないます。	①環境レポートの認知と理解の向上 ②環境M活動の周知と環境情報の提供
		環境政策・計画の整理をすすめ、全体のレベル向上を目指します。	①環境M活動のレベルアップ ②国内外の環境動向に的確に対応する

# 広がる協同・くらしの輪

## 第8回協同組合デーのつどい

7月10日、あすなら苑において第8回協同組合デーのつどい（奈良県協同組合連絡協議会主催）が開催されました。このつどいは、農協、森林組合、生協が協同組合運動の前進と協同組合間協同の推進を目的に、国際協同組合デーに合わせて毎年開催しています。今年は「食と健康」をテーマに開催し、「日本笑い学会」理事の昇幹夫先生から「前向きな極楽トンボの生き方」についてのおはなしと、ならコープ女性理事による食の安全パフォーマンスで、おいに盛り上がりました。



北村副委員長のあいさつ



## 夏祭り

7月7日、奈良教育大学、奈良県立商科大学、奈良女子大学において夏祭りが開催されました。日常の師弟の関係をはなれて、浴衣姿の学生と教職員のみなさんがジョッキーを傾けての交流の輪が広がっていました。また、奈良高専の学生委員や学生委員OBもはしごして応援にかけつけていました。

## 埼玉県生協連女性協議会研修

7月21日、あすなら苑において埼玉県生協連女性協議会の研修会が開催されました。「ならコープの福祉の取り組み」について山下ならコープ常任理事、あすなら苑の現状について伊藤協同福祉会理事長、「関西地連ジェンダーフォーラム懇談会の取り組みについて」木戸地連担当と仲宗根理事からの報告と、意見交換を行いました。



## 反核・平和の集い

8月5日、日本聖公会奈良基督協会シオンホールにおいて、第16回反核・平和の集い（奈良YMCA国際・平和委員会主催）が開催されました。カトリック奈良中和共同司牧司祭ピーター・ウィック氏から「ほんとうの平和とは・和解とは」と題して平和メッセージがよせられ、「一豪日に架ける一愛の鉄道」の上映が行われました。



## 第12回近畿地区生協・行政協議会

9月5日、奈良県新公会堂等において第12回近畿地区生協・行政協議会を開催しました。今年のテーマは「21世紀における生協の果たす役割」とし、厚生省から「生協の課題と連絡事項」について、日生協から「生協の現状と課題」について、各府県連からそれぞれ「食の安全」「環境」「福祉」「男女共同参画」「地方分権」についての報告の後、意見交換を行いました。そして翌日、特別養護老人ホーム「あすなら苑」と「県営福祉パーク」で高齢者施設の現場視察や福祉用具、モデル住宅での体験学習を行いました。



廣田生活環境部次長のあいさつ

## 奈良女子大学生協食堂部夏季学習会

9月9日、奈良女子大学食堂ホールにおいて、正規・パート職員を対象に、夏季学習会が開催されました。講師として、京都事業連合管理栄養士の飯田さんから、衛生管理について、プライスカードの見方、奈良女子大生の食生活について、村川店長からメニューレシピの見方、調理方法や味付け、盛り付けなど実践的な報告が行われ、下期に向けた意思統一が行われました。

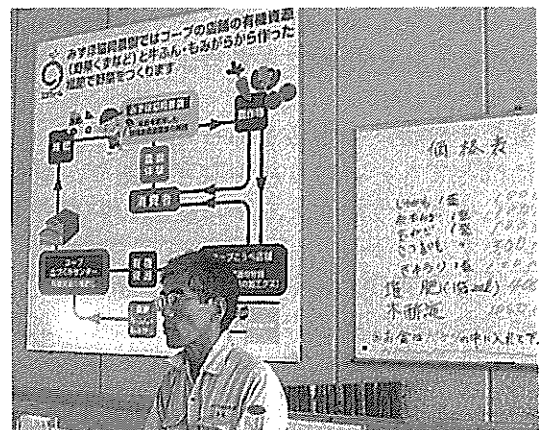
## 大阪ガスとの事業・経営問題懇談会

8月29日、大阪ガス本社において「事業・経営問題懇談会（関消懇主催）」が開催されました。99年度の決算概要、経営効率化計画、環境行動レポート、消費者ボイスセンターシステムについての大阪ガスの報告の後、質疑に入り、連結決算や税効果会計など会計基準改定に関わって公益事業としての透明性、有益性の問題や消費者対応の拠点化に関わる保安・サービスについての意見が出されました。

## エコファーム視察

9月20日、兵庫県三木市の（有）みずほ協同農園を視察しました。この視察は、奈良県協同組合連絡協議会が、ならコープ、Aコープ店舗で排出される生ゴミを使って循環型農業の協同事業が出来ないかということで調査しようということになり、兵庫県協同組合連絡協議会のご紹介で実現し、永見常務理事にご案内いただきました。

みずほ協同農園は、コープこうべの「環境共生型農園構想」の考え方に賛同した地元農家によって1998年1月に設立されました。生協の店舗から出る生鮮食品の加工くずとモミガラ、牛糞を「コープ土づくりセンター」で堆肥化し、それを使って、みずほ協同農園で農産物を生産、その農産物を生協の店舗で供給するという、資源の循環と環境共生型農園（太陽光・風力発電など利用）の実践として取り組まれていました。



永見常務理事による説明

# つながる連帯・友好の輪

## 奈良教育大学生協

奈良教育大学生協では、去る7月7日に、奈良教育大学生協食堂ホールと生協食堂前広場にて『生協夏祭り』を行いました。

今年で第5回目を迎える生協夏祭り、本年度は『世紀末記念』と題し、ステージイベントではクイズ大会やビンゴ、出店ではナインストラックなど多くの企画を行いました。今年度は新メニューとしてじゃがバター、焼きおにぎり(スタッフの手作りおにぎりです)が登場、大好評でした。

また、夏祭り当日が『七夕』ということで、数日前から食堂ホール内に願いを書いたのたんざくを置き、ホールの外には笹を飾り、組合員の皆さんに「願い事」をしていただきました。

大好評のうちに終わった生協夏祭り、来年も更なる成功を目指したいと思います。

(学生委員 高山)

## 奈良高等専門学校生協

8月に開催された大学生協連共済セミナーに、奈良高専から学生2名が参加し、本当に多くのことを学ぶことが出来ました。

僕たちの学校では、学生総合共済のことを知らせる活動はほとんどできていませんでした。でも今回のセミナーに参加して、共済のことを組合員にもっと知ってもらおうようにしようと思いました。

またその時に学習会があったのですが、その中にはとてもいい取り組みなどもあり、奈良高専でもそういう学習会を開けたらいいなと考えています。

今後も共済の企画や試食会、高専祭、新入生歓迎会などの行事に力を入れて、生協学生委員会のことをみんなに知ってもらえたらと思います。

(学生委員長 関口)

## 奈良女子大学生協

— 夏休み元気にすごしました —

8月18日～20日、京都事業連合の企画で産地交流会に参加し、北海道栗沢町へ行きました。栗沢農協は、京都事業連合で使っているお米の産地です。10年前から安くて美味しいお米を求めて取り引きされてきました。なぜ北海道のお米なのかということも考える意味で、学生6名、職員3名と取次ぎのお米屋さん1名とで参加しました。

### 米の特色

- ・気温が低いので品種改良に苦労されてきた
- ・「きらら397」を守る為、種米を作る専業農家の方が大切に育てている
- ・コシヒカリに近く安くておいしい(蛋白質が低いほうがおいしい)
- ・安心、安全に気を使った低農薬栽培

### その他

- ・学生たちが一緒に参加したので生産者の方達から色々詳しいお話を聞くことができた
- ・北海道の立地を利用した、おいしいお米を夏場でも供給出来るための、最新式お米の超低温貯蔵庫を見学した

奈良女の学生3人(関本・梶田・勝亦さん) 奈良高専の学生1人(本庄屋君) 他滋賀大彦根の学生2人は、組合長さんの家にホームステイし、採れたての野菜や果物のもてなしを受け大喜びの研修でした。

一方、職員の屋根さんは来年の新学期に向けて、「どこにもまさるPJ」として、九州・岡山のお店を見学し、家具や家電・大型店のサービスレベルの高さに圧倒されました。例えば修理や返品への対応では「すぐにお宅まで行き」直接対応している。その他シティーモールで家族皆がくつろぎながら買い物を楽しめる。生協も絶対に負けないサービスをしていかなければと、秋に向けて燃えています。

今後、ならコープの生産者との交流も学生に呼びかけて、安心、安全の取り組みを広めて行きたい。

(専務理事 竹内)

## 奈良県立商科大学生協

－ 商科大生協学生委員、初めての夏合宿 －  
毛利委員長以下 10 名は、青少年野外活動センターで合宿し、秋に向けてみんなでやりたいことをバーベキューを囲んでワイワイと話し合いました。(他大学と交流したい・奈良公園に遠足に行きたい・学食の食べ歩きをして、良いメニューは商科大でも出したいなど) その後、来年、奈良県立大学に名称変更なることに伴ない、みんなで、商科大生協の看板を作り変えました。木を焼いて焦げ目をつけて、風格のある新しい看板ができました。また、ならコープの生産者との交流も学生に呼びかけて参加したいと思います。

(毛利委員長の報告より)  
(理事 竹内)

## 樟蔭女子短期大学生協

いよいよ学生が動き出してきました。学園祭や映画上映会(大学の先生と一緒に映画を見て考える?)など学生が忙しくしています。今までは、「自分たちがしたい事!」がなかなか見つからず、つつい店長の問題意識から始まるお店づくりが中心の活動でした。今年はクリスマス企画をするようなことを学生が話しています。授業が終わって放課後に何か楽しいことをしようとかんばっています。それにお店をもっと使いやすく。楽しい・買いたいものがある・買いたいものを置いてくれる。そんなお店にしたいようで、このままでは店長はいらないのでは・・・?と危機感をつのらせる今日この頃です。来年度からは4年制になるために、大学の雰囲気づくりにも大いに貢献していると思います。

(店長 羽賀)

## 奈良労済生協

－ 第42回通常総代会を開催しました －

奈良県労済生協(和崎純二理事長)は、7月31日(月)午後、奈良市法蓮町の春日野荘で、多くのご来賓の出席のもと、「第42回奈良労済(第24回全労済近畿奈良県本部)通常総代会」を開催いたしました。

総代会は労済の協力団体(264団体・組合員63,096名)より、81団体・124名(当日は出席75名・委任25名の計100名)の総代を招集し、森本副理事長の開会挨拶に始まり、理事会を代表して和崎理事長が日頃のお礼と「2000年度の労済運動の柱として奈良労済創立40周年にむけた行事の検討と新たに県下3地区に地区推進会を設置し、推進体制の強化を図っていく」との挨拶がありました。

経過報告としましては、1999年度の主な活動として事業推進活動では、「新こくみん共済・車両共済・ねんきん共済」が目標達成したこと、純増件数達成率は44%、純増口数達成率は86%であったと報告がされました。

2000年度の活動方針として、奈良労済が2001年5月に創立40周年を迎える重要な年度として、

- ① 重点推進共済(新こくみん・自然災害・マイカー共済等)の設定。
- ② 目標達成にむけた第1期計画(99年度・2000年度の2年計画)補強策を提案。
- ③ 県下3地区に県本部の地域組織を確立していく為の「地区推進会設置案」を提案。

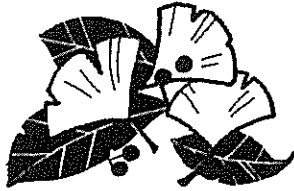
以上、満場一致で承認可決され、午後4時30分に無事総代会を終了しました。

(事業推進部推進2課 上田)



## 県連日誌

- 7/10 協同組合デーのつどい  
13 第2回理事会  
21・22 埼玉県生協連女性協議会研修  
27 県連責任者会議  
31 労済生協通常総代会
- 8/5 反核・平和のつどい  
17 関消懇事前学習会  
19・20 都府県連自主交流会  
21 平和行進報告集会  
23 食の安全中央実行委員会  
30 大阪ガス事業問題懇談会
- 9/5・6 近畿地区生協・行政合同会議  
14 第3回理事会・理事長交流会



## お知らせ

- ※ 第11回生協大会  
とき 10月28日(土) 10:00～  
ところ 特別養護老人ホームあすなら苑ホール  
内容 講演「健康を守る食生活」  
講師 豊田歯科 豊田裕章氏
- ※ ひまわり号列車  
とき 11月3日(金)  
ところ 兵庫県宝塚
- ※ 近畿地区行政合同防災訓練  
とき 11月10日(金)  
ところ 奈良県白川ダム 天理教駐車場
- ※ 2000年度第2回生協・行政協議会  
とき 11月16日(木) 16:00～  
ところ 共済会館やまと
- ※ ノーモア・ウオーのつどい  
とき 12月3日(日) 10:00～  
ところ コープたかだ

### 編集後記

◆ 二十世紀は経済的繁栄と破壊の世紀と言われる。来る二十一世紀へ、私ども生協は、「自立した市民の協力の力で、人間らしいくらしの創造と持続可能な社会の実現を」理念に掲げた。そして今、全国の生協が、食品の安全を確保するための社会的なしくみづくりに取り組んでいる。「安心・安全」に暮らせる社会へ二十一世紀の舵取りが求められている。

◆ 頼もしくもありたじろぐ陽射し、木漏れ日の下、深紅の帽子をかぶった少女が自転車ですわって行く。空と木々と少女の配合、まるでアンリ・ルソーの絵を見ているようだった。夏が過ぎ、秋チラリ！一夜毎に鳴きまざる虫の声、そしてそろそろ灯りの恋しい季節へと；四季があるってすばらしい！と感動する一方で、どうにもできない自然の力、三宅島を思わずにはおれない今日この頃です。(恭)

◆ シドニーオリンピックでは、日本の選手たちの競技をドキドキしながら観ていた。勝ったときのガッツポーズ、悔し涙、嬉し涙。度重なるけがやスランプ、肉親との別れなど、その涙に隠れたドラマを知り、思わず私も目頭が熱くなる。鍛えぬかれた体や力強い目も素敵だが、ここまで来る精神力にも魅力を感じた。年々まーいいかー、と妥協を許している自分に喝！をいれてもらった。(鈴)

奈良県生活協同組合連合会

〒630-8136 奈良市恋の窪 1-2-2 ならコープ気付  
TEL 0742-34-3535 FAX 0742-34-0043